

むさし野

No.46

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
 電話・FAX 049-225-2466
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
 ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

今年も22名が参加—2013年度定期総会を開催 勉強会では井坂先生の講演を聞く

2013年(平成25)年度の法政むさし野会定期総会(第10回)が、3部構成で6月2日(日)、午後1時30分から、JR浦和駅東口前・パルコ10階「浦和コミュニティーセンター」において開催されました。第1部・総会は、新会員の及川勝敏さん(埼玉県伊奈町)ら22名が出席。菅井幹事の司会で始まり、大野幹事の開会のことば、会長挨拶(要旨は2ページに)議長に石井会長を選出した後、議案の審議に入りました。

第1号議案「2012年度活動報告について」、第2号議案「2012年度収支決算及び会計監査報告について」、第3号議案「2013年度活動方針(案)について」、第4号議案「2013年度予算(案)について」の4議案について、筑井副会長、鹿野会計監査、石井会長からそれぞれ報告と説明が行われ、いずれも満場一致で承認・可決されました。その他の議題はなく、鹿野会計監査の閉会のことばをもって議事を終了しました。

第2部・講演会は、井坂義雄氏(法政大学名誉教授・同文学部同窓会会長)をお招きして『外から見た日本』と題して、約1時間半ご講演いただきました。(関連記事:3ページ参照、講師紹介:石井会長)

第3部・茶話会は、筑井副会長の司会・進行で始まり、



井坂先生を中心に全員で記念撮影

冒頭、法政大学名誉教授・安岡昭男、長井純市両先生からのお手紙の披露(石井会長)。次いで、筑井副会長から、11月に行う見学会の候補地・日時等について。また、大野幹事(埼玉県校友会・埼玉大会副実行委員長)から、9月6日(金)～8日(日)に開催される「第21回法政大学全国卒業生の集い・埼玉大会」の詳細日程等について、それぞれ説明と参加のお願いの後、自己紹介・近況報告などで懇親を深めました。

恒例の会場展示コーナー出展者は、

- ・尾辻紀子:近著『晴れた港の大空に—横浜市立神山国民学校—』(講談社出版サービスセンター)他著書2冊
 - ・榊原洋子:手製バック2点と作業ノート
 - ・鳥海美智子:俳句同人月刊誌『紫』(2013年4月号)
 - ・桃木良子:自分史サークル彩朋会会報『彩朋』創刊号(田16年4月)～第4号(田17年2月)各1冊
 - ・石井 満:水彩画:『春を描く』他1点
 - ・筑井信明:創作ビデオ1本—の6氏でした。(順不同)
- 総会は17時に終了。番外の第4部は、総会会場近くの居酒屋に席を移し、講師・井坂先生にもご出席いただき、総勢17名が集い、さらに懇親を深めました。(矢田記)



井坂先生の講演

会員の多士済々に今更ながら驚いています ——— 会長 石井 満

本日はご多忙のところ「法政むさし野会」総会にご出席頂き有難うご座居ます。参加申し込みは26名と今迄に最多でございますが、急に体調が悪くなったとのご連絡を頂いた方が4名もおり、この会も高齢化の波が押し寄せている事をジワリと感じています。従いまして、今日は22名を予定しております。

会報にも書きましたが先日、会員の桃木良子さんとご一緒に同じく会員の吉田登美子さんの個展に行き参りました。個展名の「さわらび」

と言う名前は万葉集から取ったとの事でした。万葉集は手に取った事は有りますがその中身は全く覚えていない自分の薄識を痛感いたしました。また前回の会報45号に掲載されている原小夜子さんの原稿「介護する側、される側」も素晴らしい原稿でした。この会を形容するに多士済済はぴったりの言葉だと思います。どうぞ今日は一人でも多くの同窓と話をされ、楽しんで下さい。（総会あいさつより）

◎◎◎ 会員の声

「会への連絡はがき」から（敬称略）

大川 成一 夢のようなクルーズから帰ってきました。パナマ運河、自然美のユスリタリカ海、エメラルドグリーンメキシコ等思い出深い旅でした。

及川 勝敏 楽しみにしております。当日よろしくお願いたします。

桃木 良子 吉田さん個展はご一緒できて良かったです。うなぎを食べなかった事残念でした。6日楽しみにしております。

筑井 信明 団体活動、業務活動などに結構忙しい日々を送っております。見学会などにはたいい参加します。

小林 薫 先日大阪出張の折、美味しいパスタ屋さんを見つけました。その他にたこ焼き、どてやき、さすが食いだおれの町。とてもリッチな気分になりました。次回も出張の時に行こうかな。近所においしいお蕎麦屋さんがあり感動。全く気がつきませんでした。目からうろこです。5/21～5/24東京ビックサイトで展示会に出展(仕事) 6月2日側溝清掃の予定。遅れますがよろしくお願いたします。

宮川 幸佳 6月に転職してリラクゼーションサロンの店長候補として働くことになりました。

織田澤 すみれ 出席の予定でしたが、都合がつかず申し訳ございませんが欠席させていただきます。皆様によろしくお伝え下さい。ツツジが満開に咲いています。

大和田 武 ご無沙汰してます。最近業界誌「週刊住宅」に掲載されたのでメールします。

下島 キヨ子 一日の寒暖の差の大きさに少し閉口気味のこの頃です。先日は思いがけず電車の中でお会いしこんな偶然あるもの・と驚きました。さわらび展には最終日に何い作品の素晴らしさに感動しました。ご健康とむさしの会の発展を祈念しております。

田中 照貢 最近年をとったためかあまり東京に行かなくなりました。池袋なら一時間で行けるのに近くで用を

済ませてしまうことが多くあります。池袋よりさらに遠い飯田橋、市ヶ谷に行くことはさらに少なくなった今日この頃です。

竹村 栄雄 年甲斐もなく未だ働いていますが6/2は職場の作業もあり欠席させていただきます。

中野 次雄 当日6/2は私たち自治会の定例会議のため残念ながら出席できません。今まではあまりある時間を有意義に過ごしておりましたが少し時間に追われる身となりました。これからもよろしくお願いたします。

宇佐美 善夫 近隣の友と二か月前から旅行を決めており重なりまして欠席する次第です。9月に行われるオール法政埼玉大会には是非出席致しますのでよろしくお願致します。

押切 次夫 今回は欠席させていただきます。今年で定年になりますので来年から出席できるかもしれません。定年後の仕事を探していますがもし良い仕事があったらよろしくお願致します。

渡部 左知夫 私は間もなく世間で言われている後期高齢者の年齢に達します。この加齢とともに昨年は自分の身体の事で今までにはなかったたくさんの経験をしました。今年に入ってから少しずつ元気を取り戻して現在に至っております。相変わらずの忙しい毎日を過ごしております。300坪以上もある家庭菜園での野菜作りにアルバイト作業、カラオケや民謡、英会話、PC講習などですが毎日を楽しく過ごせるように自分を戒めています。

田邊 洋子 いつも御苦労さまです。予定が入っておりますので今回は出席できません。

菅井 肇 介護士になって一年数カ月を過ぎようとしていますが、改めて色々な事を勉強させてもらい、少し介護士らしくなったかな?と思っておりますが現実とは違うようです。法政むさし野会も10年目を迎えますが、これからもっと色々な人達との出会いを楽しみにしつつ

サポートできたらいいなと思います。これからもよろしくをお願いします。

石井 満 定年退職して2年が経ちました。やっと少しペースをつかんできました。絵を描くことと英語の勉強を続けています。

飯田 桂子 春が近づくと楽しみな事に一つに桜の開花があります。小金井公園の桜を観てから秋田の桜を楽しみに出掛けました。滞在期間の1週間では咲きませんでした。あと2、3日いればきっと見られたと思います。GWに差し掛かるので混雑をさけて東京に戻りました。

吉田 登美子 過日は遠路お越し下さり誠にありがとうございました。今回の総会出席に致しましたが体調に未だ自信がありませんので当日はどうなるか、もしかした

らご迷惑をお掛けしてしまうのではと不安でございます。その節はよろしくお願い申し上げます。

鹿野 幸作 加齢による脳の機能低下を少しでも遅らせるよう、人と接し会話を重ね、本を読み、文章を書き、ストレッチ、ウォーキング、自転車乗りなどで身体を動かし、良く咀嚼し、脳によいことをやっております。

原 小夜子 先日は「むさし野」会報にご掲載下さり、恐縮に存じます。総会には初めて出席させて頂く事になりますが、記念講演、茶話会で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

加賀谷 恵子 いつもお世話になりありがとうございます。色鉛筆画3点を出したいと思います。

井坂先生の講演を聞いて

青木美枝（深谷市）

総会の記念講演は法政大学井坂義雄名誉教授の「外から見た日本」だった。

「TVニュースは嫌い。サスペンスの方が好き。」井坂先生は、こういう言葉で講演を始めた。

その理由を「ニュースは悲惨な事件の映像を繰り返し放映する。新聞で読めば分かることだ。悲惨なニュースの繰り返しを見るのは嫌。サスペンスはTVニュースよりましだから」と説明された。

それから約1時間半、先生は悲惨な事件とも酷い話とも、そういう言葉は一切遣わずに、ご自身が嫌いな「悲惨なひどい話」を国内、海外の歴史の中から拾い出して話された。講演の話題は多岐に亘った。その一部を紹介する。

*

① 2003年に「墓を見たい」と現在の長岡市古志郡朝日山古戦場を訪ねた。

慶応4年(1868)、北越戊辰戦争の激戦地である。長岡、会津、米沢藩兵らの奥羽越同盟軍と薩摩、長州、土佐の新政府軍との間で激闘がかわされた場所である。敗者である長岡藩、会津藩の人の墓はないか、あっても小さい。なぜか。敗者の死体の埋葬は禁止され、遺体は置き去りにされた。置き去りにされた遺体を密かに寺が埋葬したその墓がひっそりと残っているという。

② 元来、アメリカ文学研究をしてきたが、2003年に気付いたことがある。

アメリカの憲法、独立宣言には、冒頭に「人権」が謳われている。すなわち「人は生まれながらにして奪われることのない、限りない幸福を追求する権利」があること。ここにアメリカ民主主義の基本。アメリカンドリームの本質がある。ただし、これが厳密に守られ実行されていくと、他者をかえりみないという弊害が起こる。日本にいと、戦後、アメリカについていけば悪いことはないだ

ろうという考えできた。が、アメリカはどこへ行くのだろうか？アメリカ流の幸福の追求は疑問だと思うようになった。

アメリカの文学者「ナサニエル・ホーソーン」（『緋文字』の著者）が多くの人から反対されても南北戦争を否定したことや、アメリカン・ピュリタズムの傷を指摘した「アン・ハッチンソン」が憎まれても自説を貫き通した。

③ 1991年に独立したウズベキスタンに一年半ほどホームステイした。

そこでの体験である。タシケントの人々は日本人を知っていた。

第二次世界大戦後、捕虜として抑留された日本人が強制労働下で建設したインフラ設備等の多くが現在も残っており使われている。送電線が町を走り、建造物も健在だ。ビザンチン様式の国立ナボイ劇場もその一つで、1968年に起きた大地震（現地の建築物が崩壊し犠牲者が多く出た）にも崩壊しなかったという。

それらのことから、現地の人々は親日派が多く、日本人の技術力の高さ、礼儀正しさ、道徳性の高さ等の好印象を今に語り継いでいるという。

④ 8月15日に「反戦の演説」をした法政の学生。靖国神社から抗議された事実。

「皆さん、日本の歴史を知らなくては駄目よ。日本を離れて海外で教えられた。日本とアメリカが戦争したことを知らない大学生がいる。」と留学後帰国して訴えた法政の女子学生。

これらの内容の濃いお話を拝聴して私は、井坂先生は大変なヒューマニストだと思った。「基本的人権：人間が生まれながらにして有している自由かつ平等であるという権利」がなかなか守られていない現実。その困難さ。の現状を憂えておられることを強く感じた講演であった。（青木 美枝）

『利根大堰』と『妻沼聖天山』

次回の見学会は、2013年11月9日（土） 熊谷駅 10時

川幅700メートルの大河・利根川を堰き止め、東京都・埼玉県・群馬県の飲み水と農業用用水を取水している利根大堰に、3つの魚道が作られています。11月は鮭の遡上がガラス越しに観察する事が出来るそうです。妻沼聖天山は昨年7月に埼玉県では5番目の国宝に認定されました。斉藤別当実盛公が聖天様を奉納（1197年）した事が起源ですが、国宝認定の理由は江戸中期の建物とその再建基金全てが民衆によるもので、そこに価値が有るという事です。

日 時：11月9日（土） 10時00分
集合場所：秩父鉄道熊谷駅改札口前
参加費用：3500円（タクシー代、昼食代）当日徴収
*自己負担 秩父鉄道300円、聖天山入館料500円、路線バス430円等
行程：秩父鉄道熊谷駅——行田市駅——（タクシー）——利根大堰・見学——（タクシー）——妻沼聖天山・見学・昼食——（路線バス）——熊谷駅・解散
*解散後有志で熊谷駅周辺で懇親会を予定しています
*参加：10月15日（火）までに石井までご連絡下さい



大自然の中に巨大な利根大堰があります

老々介護の日々

内田吉久（さいたま市）

80歳を超えた老夫婦は、幾ら頑張っても寄る年波に勝てず、加齢と体力の衰えから病気がちになって、医者通いの日々が続いています。

特に今年の2月下旬には、老妻が背骨に細菌が付き腫瘍が出来て緊急入院する始末でした。病気は悪性ではなく、手術は無事に終了して一安心、3月中旬には退院できました。手術後の経過は良好であっても、プラスチックのコルセットに包まれた病人は大変苦痛の日々でした。入院の為足腰の筋力が衰えて歩行も困難になり、家事は一切できず障害者手帳を持つ私が主夫業を務め、慣れぬ食事・介護当番になりました。杖を使う身体障害者としては、TVや新聞で老々介護の厳しさを見聞していたが、実際に直面して見ると大変であることを痛感した。

高齢者介護保険の援助を考えて、ケアマネジャーに相談した処、親族が同居している場合は援助は不可で、自己

負担で介護者を雇えとの話で。この様な状況で、ストレスが溜まってか？ 庭先で一日に2回も倒れて、最後には頭部裂傷で三針も縫合させる有様。この為医者通いの回数が増えて、市内に住む長女や嫁の負担が大変。

長女は91歳の姑を見ているので、その世話や我々のための食糧買出し、病院への付き添い等を機嫌よく働いて呉れたので大変助かっています。長男の嫁も勤めをしながら、夕食には必ず副食を何品か届けて呉れます。同様に内孫の男子三人も、それなりに良く手伝って呉れるので助かっています。

体調も漸く回復に向かい、読書の気分も起きて本に向かう時間を作っています。今でもやり残した「故郷の史料」の整理が気掛かりです。老人にとっては、健康を維持する事が宝であると十分に味わっています。法政むさし野会の益々の発展を願っています。

総会の基調講演をして頂いた法政大学井坂義雄名誉教授よりのメッセージ

楽しい一日を過ごさせて頂きました。何よりも皆さんの温かい心を嬉しく思いました。活動されている皆さん一人一人の姿は、会報を読んで得た印象と変わらないものでした。これからも元気に活動される事を願っています。法政で学んだ

ことが、皆さんのような形で実を結んでいることは、貴重な財産のように感じます。有り難うございました。

【新入会員紹介】

土岐 真 さん
東京都港区赤坂 4-12-17（1997年度、通教経済学部商学科卒）

◆心に残った『言葉』◆

ジョン万次郎の「掘った芋いじるな」。この言葉は「今、何時ですか」という英語の発音に似ていることから、当のジョン万次郎は米国でしばしば使っていたそうなので、小生も都内で男女数人の白人に英語的発音ではなく、日本語で話しかけたが、反応は今一つであった。何と「日本語はわかりません」と英語で返ってきたので、これには唖然とした。
(鹿野)